

ほ ほ え み

0 1 7 8

毎日異常な暑さが続いています。梅雨はどこに行ってしまったのでしょうか。

年間の降水量は年によってあまり差はでないと聞きます。梅雨の後半か夏か秋に大雨があるのでしょうか。連日の猛暑に鉢植えの植木も水をやらないとすぐに枯れてしまいます。田んぼの水が干上がっているところもあるようです。稲も他の植物も降る時に降ってくれないと困ります。

梅雨のない原因は遠く離れた赤道付近の海水温度がたった1度高くなっていることだそうです。地球の温暖化でしょうか。自然の生態系が崩れやがては我々人間の体内リズムに影響がでるといふことはないのでしょうか。心配です。

健康管理にはお互い特に気をつけましょう。

< 第 7 3 回 ほほえみの会 >

暑い日でしたが初参加の人も含めて7人が集まりました。

▽ 小学6年女の子。大腸の珍しい腫瘍で先週入院すぐに手術。手術は成功したが再発の可能性も。今後の治療方針で悩む。

さらに本人に病気のことを伝えるかどうかも悩む。

参加者からは、告知は大人に比べ子どもの方が病気についてスムーズに受け入れられ頑張ろうという気持ちになる。と一般的には言われているが完治の見込みが低い場合にはそのままでも良いのではないかとの意見もありました。

また病気の話は病院に任せ、親は明るく前向きに考え本人に笑顔を振りまいていることが大事ではないか。そうすれば本人の免疫力も上がり良い方向に向かうのではないか。

テレビのお笑い番組を収録して病室で見させ、とにかく笑わせるようにしているという方もいました。

▽ 脳の腫瘍で化学療法をしているがMRIの検査がいつも込んでいて他の病院でしている。またピンポイントで照射が出来るガンマーナイフの治療も他の病院でしている。他の病院との連携がスムーズに出来るのはありがたいが子ども病院の設備の充実も望みたい。

▽ 「急性リンパ性白血病と診断された君へ」という冊子が子ども病院から発行されました。これは私達も協力しましたアンケートの結果から「初診時の説明で後から思い出せるような印刷物がほしい」という声が多かったことで寺島先生を中心に作成されたものです。

「君が白血病になったのは誰のせいでもないし、誰にもどうしようもなかったんだ」という病気の説明に始まり、血液や症状、治療の説明が続きます。そして入院中の生活の不安にも答えた上で最後には「きっと君は白血病なんかに負けない」と締めくくっています。

カラーのイラストも多く子どもにもわかりやすい内容です。

白血病の人向けですが血液の病気には共通することも多くみなさんにも一読をお勧めします。

毎日新聞で紹介されたことから全国から問い合わせがきているというのですが、当初製作した100部は患者さんを中心に配布し、現在増刷をしているとのこと。

希望者は病院か池田までご連絡下さい。1ヶ月ほどでお届けできると思います。

▽「ほほえみの会」発足7年目を迎えましたが、会費の納入が滞っている方がいます。

毎月の切手代でするので納入をお願いします。

次回は8月12日（日）11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail klikeda@nifty.com

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~hohoemi/>